

森林資源の持続的利用を支える

バイオサイエンス

日時：2006年10月20日（金）13:00-17:40

場所：名古屋大学 環境総合館1階レクチャーホール
(http://www.nagoya-u.ac.jp/camp/map_higashiyama/)④の建物

参加費：無料

プログラム

- 13:00～13:10 開会の挨拶
川井秀一（京都大学）
（座長：藤井智之、森林総合研究所）
- 13:10～13:30 バイオマス資源循環型植林基盤技術の開発
浅田隆之（王子製紙）
- 13:30～13:50 東南アジアにおける木材生産の現状と用材生産のための研究の重要性
安部 久（森林総合研究所）
- 13:50～14:10 早生樹の植林フィールドから始まる木質バイオサイエンスの未来
山本浩之（名古屋大学）
- 14:10～14:30 形成層活動と木部細胞分化
船田 良（東京農工大学）
（座長：福島和彦、名古屋大学）
- 14:30～14:50 木質化細胞壁の形成
高部圭司（京都大学）
- 14:50～15:10 木質形成代謝ネットワークの解析とその樹木バイオテクノロジーへの展開
梅澤俊明（京都大学）
- 15:10～15:30 休憩
- 15:30～15:50 細胞壁多糖の分解酵素
鮫島正浩（東京大学）
- 15:50～16:10 バイオリファイナリーのツールとしての選択的白腐菌のラジカル制御系
渡辺隆司（京都大学）
（座長：杉山淳司、京都大学）
- 16:10～16:30 木材からつくる炭素材料
斉藤幸恵（東京大学）
- 16:30～16:50 水と生物機能を用いるバイオ錬金術：バイオアルケミー
近藤哲男（九州大学）
- 16:50～17:10 森林資源を工業製品に利用するための近道（らしきもの）
金山公三（産業総合技術研究所）
- 17:10～17:40 総合討論
シンポジウム終了後、懇親会（会費制）を予定しています。

○参加申し込み・お問い合わせ（氏名、連絡先を下記までご連絡ください。）

名古屋大学大学院生命農学研究科 福島和彦（kazu@agr.nagoya-u.ac.jp）

京都大学生存圏研究所 杉山淳司（sugiyama@rish.kyoto-u.ac.jp）